

公益財団法人まちみらい千代田
第3期 第1回 評議員会 議事録

1 日 時

平成27年8月27日(木) 午後4時～午後5時25分まで

2 場 所

ちよだプラットフォームスクウェア4階402会議室

3 評議員現在数

11名

4 出 席 者

(1) 評議員(10名)

野本俊輔、鈴木潔、鎌倉勤、熊谷エイ、澤崎宏、瀬川昌輝、高橋陽子、
谷真理子、山口修一、米倉伸三 (欠席 1名:志摩雅子)

(2) 監事(1名)

高橋誠一郎

(3) まちみらい千代田(6名)

山崎芳明 理事長

鈴木秀人 副理事長(事務局長)

本郷友孝 企画総務グループマネージャー(以下「GM」という)

金子辰夫 住宅まちづくりGM

加藤英明 産業まちづくりGM

伊澤 優 まちづくり推進担当GM

5 議 題

(1) 議案 第1号 公益財団法人まちみらい千代田 第2期事業報告(案)について

(2) 議案 第2号 公益財団法人まちみらい千代田 第2期決算(案)について

(3) 議案 第3号 公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について

6 開会、挨拶、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、事務局が配付資料の確認を行った。定款第25条により評議員会の議長を務める野本会長が開会を宣言した。

山崎理事長の挨拶の後、出席者数について事務局から報告し、定款第26条の規定に定める定足数を満たしていることを確認し、本評議員会が有効に成立している旨を告げた。

次に本評議員会の議事録署名人として、事務局から定款第30条第2項の規定により、本日出席の澤崎宏評議員と谷真理子評議員の2名を提案し、議長が両評議員を指名したところ、本人もこれを承諾した。その後、議事に入った。

7 議事の経過及び結果

- (1) 議案 第1号 公益財団法人まちみらい千代田 第2期事業報告(案)について
- (2) 議案 第2号 公益財団法人まちみらい千代田 第2期決算(案)について

議長から議事の審議に入る前に議案第1号及び議案第2号については関連があるため一括上程し、審議を行いたい旨を提案したところ、全員異議なく了承したため、配付資料に基づき、第2期の事業報告(案)と決算(案)を続けて説明した。

第2期事業報告(案)については、各担当GMから資料にもとづき、主な事業について、報告した。

第2期決算(案)については、鈴木副理事長から資料にもとづき、財務状況や執行状況について報告した。

議案の審議に先立ち、高橋誠一郎監事から、監事監査(平成27年7月16日実施)の結果について、決算資料が正確であり、業務が適正に執行されている旨の報告があった。

◎審議の中で以下のような質疑や意見があった。

(評議員)

「監査報告書」に各金融機関の預金や有価証券をどのように残高照合したかについて、記載が無い。

(監事)

資産の残高照合は、各金融機関の預金通帳や残高証明書により確認した。今後は、その旨、明確に記載するようにする。

(評議員)

「満期保有目的の債券」の評価方法の変更について具体的に。

(まちみらい千代田)

売買を想定していない「満期保有目的の債券」について、公益法人会計基準にもとづき、「時価評価」から「帳簿評価」に変更した。約1億8千8百万円ほどの差がある。

(評議員)

建物と居住者の「老い」の進行により、「マンションの再生化をどうするか」は、重要な課題である。マンションの入居状況を調査した方が良い。

(まちみらい千代田)

千代田区内でも小規模マンションのスラム化や外資の参入が見られるなど、今後のマンション対策には様々な課題がある。まちみらい千代田が本年9月12日(土)に開催する「千代田マンション管理セミナー」は、まさに老朽化した「旧耐震マンションの再生」をテーマとしている。

(評議員)

第2期は公益法人化してからの事実上のスタートということで、収支決算における執行率が約70%と低かった。次年度に向けてどのように事業進行をするのか?

(まちみらい千代田)

第2期は、新規事業についての区等との調整もあり、スタートが遅れた事業も多かった。中には1年遅れで取り組んでいる事業もあるが、第3期は当初の計画どおり、事業を進捗させるよう努力する。

(評議員)

マンション総合相談窓口は、常駐するマンション管理士の人数が増えたが、必ずしも相談実績が増えているとはいえない。また対応が遅い事例があった。

(まちみらい千代田)

相談実績については、窓口設置のPR不足によるところが大きい。今後より一層、PRに努めるとともに、相談業務の方法を工夫したり、レベルアップさせることにより、利用者本位で、迅速かつ的確なサポートが出来るようにする。

(評議員)

様々な相談内容があるので、一概に相談件数＝実績とは限らない。従来、建築士事務所協会等で相談していた方が、まちみらい千代田で相談する等、相談窓口拡充の効果は上がっている。

議案第1号及び議案第2号について、一括して諮ったところ、全員異議なく議決した。

(3) 議案 第3号 公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について

本郷GMから、議案第3号について、現理事の任期が8月27日で満了となるため、定款第21条及び第33条に基づき理事を選任すること、理事候補は5人が再任、2人が新任（横浜市立大学教授：齊藤広子氏、東京商工会議所千代田支部長：前川秀樹氏）であること、そして、現理事の小嶋勝衛氏と堀田康彦氏は、今期をもって退任されること、以上を説明した。

続いて、議長から、候補者を一括してその賛否を諮るのではなく、候補者一人ひとりについて採決を採ることを説明し、議案に従って採決を行った。

- ①足助紀彦氏の理事選任について諮ったところ、全員異議なく承認された。
- ②小田利隆氏の理事選任について諮ったところ、全員異議なく承認された。
- ③立川資久氏の理事選任について諮ったところ、全員異議なく承認された。
- ④齊藤広子氏の理事選任について諮ったところ、全員異議なく承認された。
- ⑤前川秀樹氏の理事選任について諮ったところ、全員異議なく承認された。
- ⑥山崎芳明氏の理事選任について諮ったところ、全員異議なく承認された。
- ⑦鈴木秀人氏の理事選任について諮ったところ、全員異議なく承認された。

議案第3号は提案どおり、全員が承認された。議長から、理事長と副理事長については、定款第33条第2項により、今後、理事会において選定されることを説明した。

8 その他報告・連絡事項等

(まちみらい千代田)

前回の評議員会で質問があった「マンション管理組合連絡会」等の活動状況について、東京23区内での調査結果を報告した。

マンション管理組合連絡会がある区は、23区中3区である。

- ①千代田区（区内分譲マンション数：432、登録組合数：77、平均出席数：15）
 - ②中央区（区内分譲マンション数：約820、登録組合数：約80、平均出席数：15）
 - ③品川区（区内分譲マンション数：約2,800、登録組合数：42、平均出席数：15）
- なお、台東区は、本年12月にスタートを予定している

(評議員)

普通預金口座の数が多いのではないかと？

(まちみらい千代田)

預金口座の整理統合を進めているが、区民住宅家賃や賛助会費の振込口座等、利用者の利便性のために必要な口座については統合が難しい。

最後に事務局から次回評議員会の開催予定（日時：12月18日（金）午前10時～、会場：402会議室、議題：第3期事業の中間報告）を出席評議員に連絡した。

以上をもってすべての審議を終了したので、午後5時25分、議長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、議長及び評議員がこれに署名、押印する。

平成27年8月27日

公益財団法人まちみらい千代田
第3期第1回 評議員会

議 長 野 本 俊 輔 (印)

議事録署名人 澤 崎 宏 (印)

議事録署名人 谷 眞 理 子 (印)